

【技術分類】 2・7・7 メガネのレンズ/コーティング/コントラスト向上コート

【 F I 】 G02C 7/02, C08J 7/00

【技術名称】 2 - 7 - 7 - 1 コントラスト向上コート (NP コーティング)

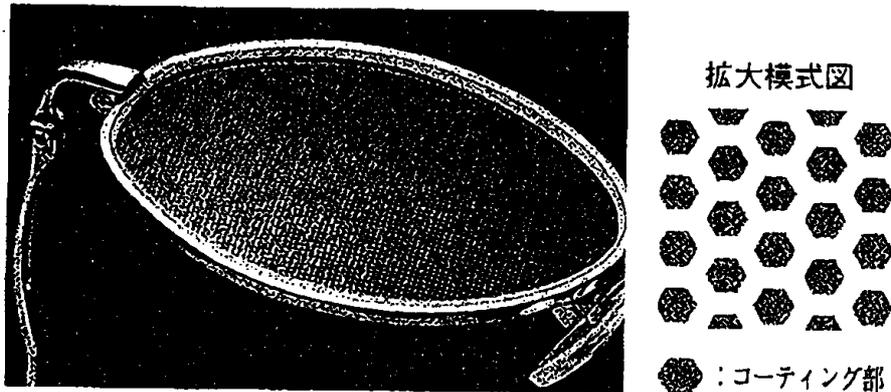
【技術内容】

コントラスト向上コートは、NP コーティング (ネッツ・ペック・コーティング) と呼ばれ、レンズ内側面に六角形状の赤外線吸収皮膜 (半透明の特殊金属膜) が多数ドット状にコーティングされており(図1)で、コントラスト視力の向上に効果があるといわれている。各々の六角形の面積は約 0.086 mm<sup>2</sup>、厚みは約 50nm であり、レンズ面積の約 60% に対してコーティングされている。

この表面処理を行うことによって、光干渉効果によりコントラストが増感され、物の輪郭がはっきりと見えるようになる。文字がはっきりと見えるので、コンピュータ作業やまぶしさの軽減や昼夜間のコントラストの改善によってドライブなどに用いられる。また、初期白内障に対して、NP コーティングレンズの装用は、グレアや薄暮時の視機能低下を軽減させる効果があるとされる。

【図】

図1 NP コーティングレンズ



出典 : 【出典 / 参考資料】 出典に同じ、1134 頁、「図1 ネットペックコーティングレンズ」

【出典 / 参考資料】

出典: 「初期白内障におけるコントラスト視力とネットペックコーティングレンズの有用性」、入江都、山本香織、堀貞夫著、あたらしい眼科 Vol. 22 No. 8、2005 年 8 月、株式会社メディカル葵出版発行、1133-1136 頁

参考資料: 東眼鏡株式会社、株式会社伊藤幹、株式会社アライ 共同ホームページ

<http://optical-space.jp/nps/files/np-info.html>

2005 年 12 月 8 日